



新潟医療生活協同組合機関紙 新潟医療生協

2019

8月号 VOL.512

http://niigata.ryo-coop.com

新潟医療生活協同組合 〒950-0862 新潟市東区竹尾4-13-3 ☎025(273)2151

発行責任者 鈴木克夫 毎月1日発行(月間)定価20円 機関紙「新潟医療生協」の購読料は出資金に含まれるものとする。



健康チャレンジの取り組みを紹介する佐藤みのる理事=7月2日、朱鷺メッセ

6月23日、新潟医療生活協同組合第45回通常総代会が行われ、昨年に引き続き、「健康づくりはしあわせづくり」の運動が確認されました。新潟医療生協誕生から今まで地域全体の健康づくりを一貫して行っております。

○計画～実践まで地域住民の意見を集約し考案している点
○様々な年代の健康づくりに寄与している点
○住民主体の健康づくりを支援しています。

が高く評価されました。
7月には「第29回新潟県協同組合間提携研究集会」の場でも健康チャレンジの取り組みを報告する機会をいたしました。これもご参加いただきたい地域や

今年も組合員のみなさんが健康新たに考えて行動するきっかけとなる「けんこうチャレンジ」への参加を広く呼びかけます。子ども向けてに「キッズチャレンジ」もあわせて行います。

申し込みは、地域活動部の職員へ渡していくだけ、事業所の投函箱にお入れください。まずは9月末までのエントリーをお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、地域活動部または健康づくり委員会事務局までお問い合わせ下さい。
☎025(274)7139
■これは元信州大学名誉教授で農学者であった玉井袈裟男氏の「風土舎」の創立宣言である▼理事会体制も新たな布陣になった新潟医療生協。協同による、まちづくり・食づくり・健康づくり・暮らしを通じて、自分たちのくらしを自分たちで「ゆたか」にする「地域まるごと健康づくり」運動を、変革者の立場で既成概念にとらわれない柔軟な発想力と大胆な提案力で恐れず、ひるまず、前を向いて私たちは歩む。(K・S)

健康づくりはしあわせづくり

2019
けんこうチャレンジがスタート

けんこう 2019 チャレンジ

チャレンジ期間
8月1日～10月31日の30日間

チャレンジ申込み⇒9月30日(最終)

報告カード提出⇒11月30日(最終)



「風土」という言葉があります
動くものと動かないものの
風と土
人にも風の性と土の性がある
風は遠くから理想を含んで
やつてくるもの
土はそこにあって生命を生み
出し育むもの
君、風性の人ならば、風を呼ぶ
こむ土になれ
土は風の軽さを嗤い、風は土の重さを蔑む 愚かなことだ
愛し合う男と女のように、風
は軽く涼やかに
土は重く暖かく
和して文化を生むものを
魂を耕せばカルチャ―、土を
耕せばアグリカルチャー

理想を求める風性の人、人、
現実に根をはる土性の人、集
まつて文化を生もうとする。
土は重く暖かく
和して文化を生むものを
魂を耕せばカルチャ―、土を
耕せばアグリカルチャー

芦
沼

地域から見た「なじよも」

—なじよも見学会が開催されました—

新潟県立大学・健康栄養学科の学生（6月25日）と、東山の下・民生委員のみなさん（6月26日）が「なじよも」の見学に来られました。



県立大学・健康栄養学科の学生たちが、なじよも館内を見学



民生委員のみなさんは、健康ステーションでの結果を共有していました

医療生協の活動が
人と人とのつないでいく

学生のみなさんは見学後に、「なじよもは、利用者さまが笑顔になれるような工夫をしていて、とてもあたたかい場所だと感じました」と感想をいただきました。



インタビューに答えていただいた民生委員の佐藤美代子さん

組合という仕組みであり、地域での活動ひとつひとつなど改めて気付かされました。

「いいところ」を
もっと見える形に
—民生委員の声—

7月3日、木戸病院講堂にて保健委員会総会が開催されました。来賓として鈴木克夫理事長から挨拶を頂いたのち、各地区と健康づくり委員会から活動報告が行われました。

保健委員会、新年度の活動がスタート

学習会では、スポーツプログラ

マードセントラルを展示し啓発活動をしました。お客様からは「1日でこんなに野菜を食べなきゃいけないの?」とか「ラーメン1杯の塩分で力レーライス2杯食べられるね(笑)」と会話を楽しみながら説明していました。



保健委員さんの健康チェックでは「あら?ちょっとと血压高いから」と心配の様子。「普段から血压を計るようにしてくださいね」と保健委員さんは優しく声をかけていました。



石山総支部のこの活動は今年で2回目をむかえました。健康福祉課は今年からフードモデルを購入し「ちょい塩」活動を取り組み、石山保健委員会は昨年同様に健康

チェックを取り組みました。来年も一緒に石山地域の健康促進「石山発健康行き」のために共にがんばりましょう。参加された皆さん本当にお疲れ様でした。



石山総支部と東区健康福祉課が連携して健康づくり

石山総支部保健委員会 会長 高橋 美枝子

石山総支部保健委員会は東区健康福祉課と連携してまちかどでの健康活動を7月10日(水)清水フードセンター東中野山店で行いました。東区健康福祉課は「1日の野菜摂取量」「食事の塩分量」と題して新鮮な野菜とフードモデル

ルを展示し啓発活動をしました。お客様からは「1日でこんなに野菜を食べなきゃいけないの?」とか「ラーメン1杯の塩分で力レーライス2杯食べられるね(笑)」と会話を楽しみながら説明していました。

各地区と健康づくり委員会から活動報告（写真・横越総支部の永井国男さん）

保健委員会総会にて保健委員会総会が開催されました。来賓として鈴木克夫理事長から挨拶を頂いたのち、各地区と健康づくり委員会から活動報告が行われました。

保健委員会、新年度の活動がスタート



総踊り体操をする保健委員のみなさん（前列左・講師の渡邊チズ子さん）

理事会報告

7月4日(木)下記議題にて第2回理事会が開催されました

【承認事項】

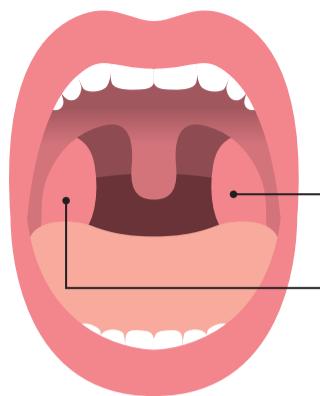
- ①5月分組織状況報告の承認の件
 - ・関連委員会からの報告
- ②5月分事業所報告の承認の件
 - ・医師確保対策の進捗状況について
- ③5月分経理状況報告の承認の件
- ④常務理事及び理事順序の件
- ⑤専門委員会の設置の件
- ⑥役員等報酬小委員会報告の承認の件

【議決事項】

- ①規程の変更の件
 - ・就業規則、医師給与規程の一部変更
- ②固定資産の取得の件
 - ・高額設備機器更新

③懲罰委員会からの結果を受けての対応の件

- ①賞与支給報告の件
- ②短期借入金報告の件
- ③理事会議事録（第11回）修正内容確認の件
- ④第12・13・14回理事会議事録確認の件
- ⑤新潟まつり実行委員会報告の件
- ⑥専門委員会報告の件
- ⑦役員研修会の件
- ⑧その他
 - ・2019年度関信越ブロック組合員活動交流集会in月岡



扁桃

おぐ
扁桃腺が腫れた」という
言い方をしますが、扁桃腺という
のは正しい単語ではありません。腺
正確には「扁桃」といいます。腺
というのは何かを分泌する臓器と
いう意味で「甲状腺」や「唾液腺」
などがそれにあたります。扁桃は
自分で何かを分泌するということ
はしないので、腺とは言えません。
では、一体何のための臓器なので
しょうか。

鏡の前で口を大きく開けてみて下さい。舌の付け根の両側に、まるで埋もれるようにして丸いものが見えます。それが「扁桃（へんとう）」です。より正確には「口蓋扁桃」といいます。子供の頃は比較的大きな扁桃ですが、成長とともに徐々に小さくなります。成人では口を開けただけでは見えないくらい小さくなっている人もいます。

はじめに

抗体を作るための工場

実は扁桃は、わざと感染を起こすために存在する臓器です。

水を飲むのもつらいという経験は、誰しも一度はあるのではないでしょうか。

扁桃炎になつたら

感染が終わると、陰窓には死滅した病原体が膿となって残りますが、これはある時ポロッと落ちて出てくることがあります。潰すと独特の臭いにおいがする、いわゆるクサ玉の正体です。

食べ物や空気によぎれて多くの病原体が侵入しようとするのは、ます口からです。その口の中でわざと感染をおこせば、早めに抗体を作り、対抗することが出来ます。まさに抗体を作るための工具というわけです。

扁桃をよく観察すると、表面に小さな凹みがいくつあることに気が付くでしょう。これは陰窩（いんか）といって、表面積を大きくすることで感染を起こし易くする工夫です。

わざと感染を起こす性質上、扁桃という工場は常に炎症のリスクに晒されています。そして時々、敵の勢力が強すぎて、工場が燃え上がってしまうことがあります。これが扁桃炎です。



力が落ちるので、心配になるかも知れませんが、大丈夫です。扁桃だけで抗体を作っているわけではないので、仮に手術で摘出しても免疫が弱くなることはありません。

たまには負ける」ともある

不思議な臓器、扁桃



耳鼻咽喉科
岩井 玄樹

介護の始まるきっかけは、大きく分けて2つ。①「病院からの退院時、自宅で介護保険サービスを利用する」②「認知症のような症状がみられて毎日の暮らしに支障が出る時など、家族の気づきがきっかけで利用する」となっています。

年号が令和に改められ2ヶ月が経過しました。7月1日よりケアプラン石山は、新しい職員をむかえて男性1名女性2名の3名体制でスタートをしております。

介護サービス利用のお手伝い

～ケアプラン石山～



まとめてご家族の方がケアマネジャーと相談しながら計画を作成することでスタートします。保険外で利用できるサービスもありますが、地域により使用できるサービスが異なります。

介護される側とする側が共倒れにならないように、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるようにサービス利用ができるようにお手伝いしていきました。

ほほえみの里では、蒲原祭りに合わせて、施設の利用者さまとボランティアさんで楽しく笹団子づくりをしました。もちろん、当日のおやつは手づくり笹団子です。飲み込みの悪い方や噛むことが困難な方は厨房で「嚥下食の笹団子」に加工しての提供です。こねた笹団子の生地を分けてもらい、水分や味の調整のために、かゆを足して軟らかさを調節し、ミキサーにかけゼリー化します。あんこもツルンと「のどごし」の良いゼリーにします。最後は笹でくるんで、すげで結び、見た目を良くしました。

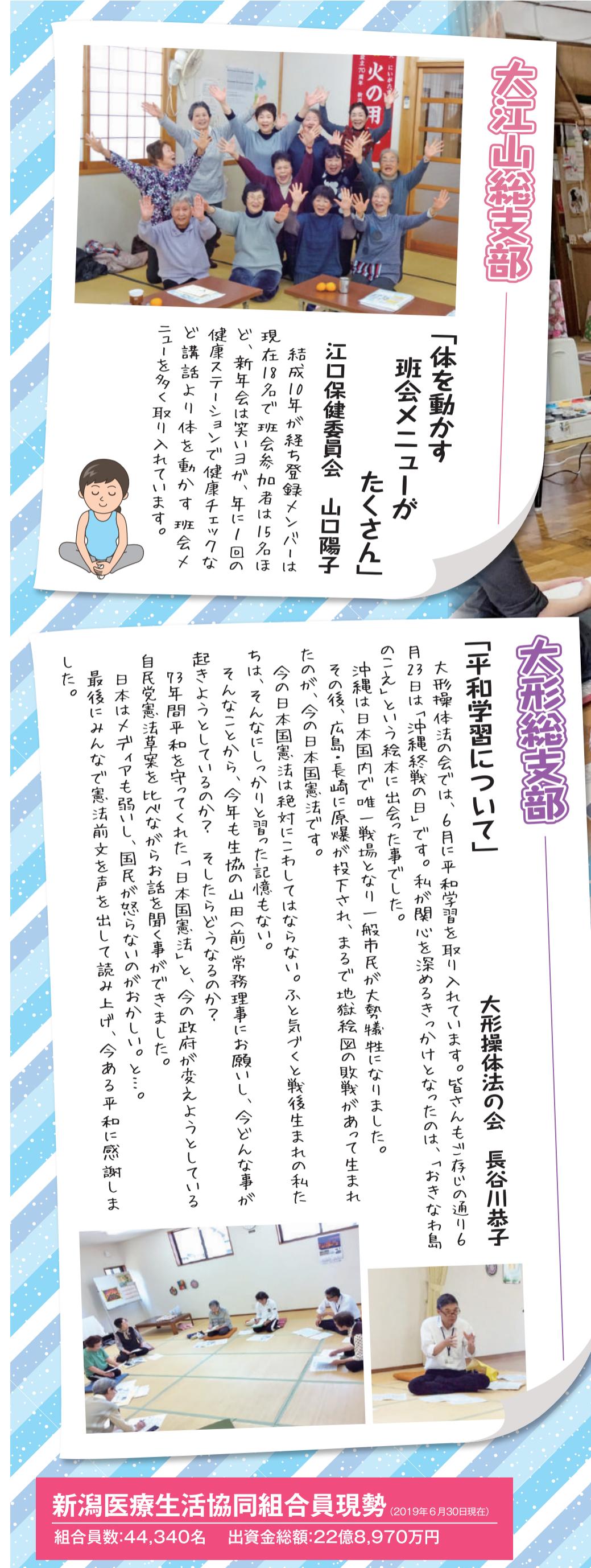


ツルンと「のどごし」の良い
★嚙下食笛団子★の出来上がり！

こうしてミキサー食の方など
皆さんに新潟のソウルフード
「笹団子」を味わっていただくこ
とができ、大満足のおやつタイ
ムとなりました。

★お知らせ★

「ほほえみの里きど 介護教室」を
9月29日(日)に開催します。
詳細は次号でお知らせします。



七夕まつり が開催され、約650人の参加がありました

—“いのちの協同宣言5周年記念”なじよも・あしぬま協同企画「七夕まつり」—

7月6日になじよもとあしぬま荘を会場に七夕まつりが開催されました。当日は、天気にも恵まれ大勢の皆さまから足を運んでいただきました。なじよもでは、各事業所紹介を含めた見学ツアーやこども向けAED教室、ワンちゃんとのふれあいコーナーといった参加型の催し物や、フリーマーケットや子ども食堂も開催されました。また、あしぬま荘との合同スタンプラリーも行われたくさんの方々にご参加いただきました。

これからも、地域の皆さまに楽しんでもらえる催し物を開催していきます。楽しみにしていてください。



曾野木「結いの郷」で、 百の花サービスの体験会を実施!!

江南区曾野木の「結いの郷」で、地域の組合員さんの健康増進や介護予防に役立つ事業を行うため、健康づくり運動（百の花なじよもサービス）の体験会を開催いたします。

日程は下記のとおりです。お近くにお住まいの方ぜひお立ち寄りください。

会 場 結いの郷

日 程 8月17日(土)、9月21日(土)、10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)

時 間 10:00~12:00

体験料金 554円

持 物 動きやすい服装、内履き、タオル(汗拭き)

※参加の際、予約の必要はありません。お気軽にご来場ください。



写真は運動のイメージです

各種教室の ご案内(有料)

教室名	開催日時	会 場	料 金
おのれしょわらくどうじょう 己書輪楽道場 なじよも幸座(筆文字)	8月3日(土) 13:00~15:00 (1コマ90分)	3号館3階多目的室	受講料2,000円 (初回の方は1,000円)
なじよもうたごえ喫茶	8月3日・9月7日(土) 13:30~	2号館1階カフェテリア	参加費500円
パステル画	8月10日・24日(土) 13:00~15:00	3号館3階多目的室	材料費1,000円
懐かしの昭和歌謡広場	8月17日(土) 13:30~15:00	3号館3階多目的室	参加費300円
生け花(小原流)	8月19日(月) 13:30~15:00	2号館1階カフェテリア	材料費1,000円
なじよもあーとサロン(臨床美術)	8月26日(月) 13:30~15:00	3号館3階多目的室A	材料費1,500円
笑いヨガ	8月27日(火) 10:00~	2号館カフェテリア (いつもと場所が異なります)	材料費300円

なじよもの通りハでやっています!!

今回も頭の体操を紹介します。指を折る動作を使った手遊び感覚で出来るものです。「間違わずにしっかり出来なければならない」というものではなく、出来なくても良いのです。「出来るようにチャレンジすることが大切です」。

レッツ!チャレンジ!!
出来なくてもOK!
「チャレンジすること」
が大切です!!



●準備動作

- 1) 両手で「パー」をつくり、数を数えながら、親指から順番に指を1本ずつ折り曲げていきます。
全部折り曲げたら、小指から順番に1本ずつ立てていきます。

●本動作

- 2) 指を折る動作から立てる動作を1本ずつずらしていきます。



1) 両手で「パー」を作ります。



右手は親指を曲げる、左手は「パー」



右手は親指・人差し指を曲げる、左手は親指を曲げる



右手は親指・人差し指・中指を曲げる、左手は親指・人差し指を曲げる



右手は親指・人差し指・中指・薬指を曲げる、左手は親指・人差し指を曲げる



右手は「グー」、左手は親指・人差し指・中指・薬指を曲げる



右手は小指を立てる、左手は「グー」



右手は小指・薬指を立てる、左手は小指を立てる



右手は小指・薬指・中指を立てる、左手は小指・薬指を立てる



右手は小指・薬指・中指・人差し指を立てる、左手は小指・薬指・中指・人差し指を立てる



右手は「パー」、左手は小指・薬指・中指・人差し指を立てる



右手は親指を曲げる、左手は「パー」

第39回 健康まつり開催

サンキュー
合言葉は「39健康」!

健康づくりは しあわせづくり
— 老いも若きも、レッツエンジョイ! 健康まつり —

10月6日(日) 10:00~14:00
会場:木戸病院

**木戸病院の佐藤院長と
石山診療所の丸山所長による
健康講演会が開催**
その他、健康チェックコーナー等、企画検討中!!

Information

—職員募集—

- 【木戸病院】医師・看護師・助産師・理学療法士・作業療法士・看護助手
保育士(登録アルバイト)・トレーナー(アルバイト)
 - 【なじよも】医師・訪問看護師・訪問従事者(担い手ヘルパー)・介護員(アルバイト)
訪問介護員(ヘルパー)・運転手
 - 【介護老人保健施設 ほほえみの里 きど】看護師・入浴介助・運転手
 - 【石山診療所】医師
 - 【法人一括採用(配属先は採用後に決定します)】介護支援専門員・介護福祉士・介護員
- ※採用状況により、募集を締切っている場合があります。最新情報はホームページをご覧下さい。
〈お問い合わせ先〉 総務課 ☎025(273)2151

新潟医療生協 山の下総支部 健康セミナー開催

東洋医学と操作法

参加費無料

どなたでも参加できます

講師 木戸クリニック所長 須永 隆夫 先生

日時 8月31日(土) 10:00~

会場 宝町会館 ※駐車場はありません



〈お問い合わせ〉 地域活動部 ☎025(274)7139

医療生協機関紙

「芦沼会コーナー7月」

ふもとの奏は小規模多機能ホームとグループホーム2ユニットを併設した施設として中山地区に2016年7月に開設し、今年の7月で丸3年となります。施設名の「奏」には「人」という字が二つあり、人が人を支えるという想いを込めて名付けました。また、「奏」には音楽を奏でるという意味合いがあるので、思いやりの心を奏でるようにこの地域でご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員が心地よいメロディーが流れるような居場所作りを目指しています。



また、地域の方々に気軽に足を運んでいただくために、毎月第4水曜日に「ふもとカフェ」を開催しています。体操や講習会、カラオケ、ゲームなどで楽しんでいただき、ご利用者の方と一緒に美味しいコーヒーを飲みながら交流をしていただいている。「毎回楽しみにしているよ。」との有難い声も聞かれています。カフェでない日もボランティアの方に来ていただいたりしていますので、ぜひ気軽に足を運んでみてください。

かなか

ふもとの奏

